

賃金向上計画(A型)

黄色セルを記入してください。
青色セルはブルダウンから選択してください。
(ピンク色セルは自動計算です。)

千葉県：
青色のセルはブルダウン
選択です。

当初作成日	令和5年8月1日	計画修正日(今回作成日)	令和7年6月25日	千葉県： 「別紙 1 報告票」のC列に記載されている「No」を記載 (新規指定の場合記載不要)	
事業種別▼	就労継続支援A型(雇用型)	法人種別▼	2=社会福祉法人(社会福祉協議会以外)	電話番号	043-223-2339
事業所番号	123-456-7867	運営法人の名称	千葉県	メールアドレス	syohuk10@mz.pref.chiba.lg.jp
事業所名	障害福祉事業課	定員	21	No	999
事業所所在地▼	01千葉市	担当者名	千葉 太郎	多機能型の有無▼	無

多機能型事業所の場合、A型(雇用型)・A型(非雇用型)・B型等、別々に作成してください。

I 目標賃金の設定、賃金実績等について

(1) 直近2年間の賃金実績、今年度以降3年間の目標賃金額 〈注〉目標額は、国の指針(平成24年4月11日障発0411第4号厚生労働省障害保健福祉部長通知)に基づき、下記の項目を勘案して設定すること。 A 各事業所の前年度の平均賃金実績 B 地域の実情を踏まえ、障害年金と合算して、障害者が地域で自立した生活を実現できるため必要な収入 C 地域の最低賃金や一般雇用されている障害者の賃金						
項目	令和5年度	令和6年度		令和7年度	令和8年度	令和9年度
	実績	目標額	実績	目標額	目標額	目標額
①売上総額(円) 【生産活動に係る事業収入】	23,150,602	24,000,000	24,583,211	26,000,000	27,000,000	28,000,000
②経費総額(円) 【生産活動(事業)に必要な経費(利用者の賃金を除く)】	1,222,002	1,000,000	1,055,554	1,060,000	1,070,000	1,080,000
③工賃変動積立金(円)	0	0	500,000	0	0	0
④設備等整備費積立金(円)	0	0	100,000	0	0	0
⑤積立金の取り崩し金額(円)	50,000	0	0	0	0	0
⑥他会計等から賃金への充当額(円)	500,000	0	0	0	0	0
⑦支払賃金総額(円) (①-②-③-④+⑤+⑥) 【対象年度内に支払った賃金総額。賞与等含む】	22,478,600	23,000,000	22,927,657	24,940,000	25,930,000	26,920,000
⑧各月の賃金支払対象者の延べ人数(人) 【対象年度の各月の賃金支払対象者の総数】	200	200	200	200	200	200
⑨平均賃金月額(円) (⑦÷⑧)	112,393.0	115,000.0	114,638.3	124,700.0	129,650.0	134,600.0
⑩各時間の賃金支払対象者の延べ人数(時間) 【対象年度の各日の各時間毎に工賃(賃金)を支払った人間の、 労働時間の合計=延べ人数】	18,000	18,500	18,000	18,000	18,000	18,000
⑪平均賃金時間額 (⑦÷⑩)	1,248.8	1,243.2	1,273.8	1,385.6	1,440.6	1,495.6

千葉県：
令和7～9年度の欄には目標額を記載してください。

千葉県：
・「工賃変動積立金」及び「設備等整備費積立金」は当該年度の工賃(賃金)が前年度を下回らない場合に限り、以下のルールで計上できます。

・「工賃変動積立金」は各年度では過去3年間の平均工賃の10%までしか積み立てられません(上限は過去3年間の平均工賃の50%以内)。

また、事業所を開設した初年度は積み立てられず、2年度目から積み立てが可能です(その場合の積立額は1年目の10%以内)。

・「設備等整備費積立金」は各年度では就労支援事業収入の10%以内までしか積み立てられません(上限は資産の取得価格の75%以内)。

千葉県：
例】定員20人の事業所で、
4月 18人
5月 20人
6月 19人
7月 19人
8月 20人
9月 20人
10月 20人
11月 19人
12月 19人
1月 19人
2月 19人
3月 19人 だった場合、

1年間の各月の工賃(賃金)支払対象者の総数は、231人

千葉県：
ピンク色のセルは自動計算です。
(黄色を入力していくと反映されます)

千葉県：
原則、生産活動で得られた利益でしか賃金に還元できないが、やむを得ず訓練等給付費(自立支援給付費)などから、利用者工賃に充当した額。

千葉県：
【例】1年のうちに、4月1日、4月5日、5月9日、10月21日しか開所していなくその日の作業分に工賃を支払った場合(極端な例です)。
4月1日 Aさん5時間・Bさん3時間・Cさん6時間
4月5日 Aさん4時間・Bさん5時間・Cさん4時間
5月9日 Aさん4時間・Bさん4時間・Cさん5時間
10月21日Aさん5時間・Bさん5時間・Cさん5時間

1年間の総労働時間は55時間→各日の各時間毎の工賃(賃金)支払対象者の総数は55人
=延べ生産活動時間数(時間)は55時間

※上記は例として4日しか開所していない場合ですが、通常定員20名で1年間開所していれば、
5000人(時間)～20,000人(時間)程度の数字になることが一般的です。

(2) 令和6年度のサービスの提供状況について記載してください。▼					
サービスの提供状況等 (令和6年度)	農福連携▼ (新規or既存)		農福収入額	農福収入割合(%)	在宅就労▼
	○	既存	800,000	3%	○
	障害者就労事業振興センターが委託する共同受注への参加				共同受注収入額
	○				600,000
	令和6年度は開設から何年度めか				賃金向上達成指導員指導員の有無
	2年目				有

	報酬体系（令和 6 年度）			
	就労継続支援 A 型サービス費（Ⅰ）（従業員配置7.5：1 以上）			
	評価点（点）		利用定員	
	135		21人以上40人以下	
評価点内訳	労働時間（点）	生産活動（点）	多様な働き方（点）	支援力向上（点）
	65	40	5	5
	地域連携活動（点）	経営改善計画（点）	利用者の知識及び能力向上（点）	評価点公表の有無
	10	0	10	○

千葉県：
スコア方式による評価内容が未公表の場合、
減算の対象となります。

(3) 就労継続支援 A 型に係る内容 (令和6年度実績)								
①延べ労働時間数 (時間)	②各日の延べ利用者数 (雇用契約者数) (人)	③1日の平均労働時間数 (①÷ ②) (時間)	④利用開始時には予見できない事由により短時間労働となった場合の除外した労働時間等					
18,000	4,032	4.5	除外した延べ労働時間数 (時間)	0	除外した各日の延べ利用者数 (人)	0	除外した実利用者数 (名)	0

千葉県：
1 日ごとの利用者数の合計（各日の利用者数の人数を、1 年間足し合わせた数）
4／1 14人、4／2 15人、4／3 15人、4／4 12人・・・・・・
これを1 年間の開所日ごとに算出し、合計する。

（平均的なイメージ： 定員 2 0 名で 1 日平均利用者数が 1 6 名だとしたら概ね、
1 6 名× 2 1 日× 1 2 か月＝ 4 0 3 2 人）

（４）最低賃金の適用除外の承認を受けている利用者の有無（令和7年4月1日現在）					
最低賃金の適用除外の承認を受けている利用者の有無			有		
▶適用除外の利用者がいる場合	最低賃金減額者数	1	名	全体人数	25 名（全体）
	最低賃金減額者数／全体人数	4%		名／名（全体）	

II 就労支援事業（生産活動）の内容と特徴（主なもの）について

(1) 施設外就労を実施しているか否かを記載してください。▼

施設外就労実施の有無	有
------------	---

(2) 現在行っている就労支援事業（生産活動）について、分野（1～13）の中から選び、その事業内容を具体的に記載してください。回答は可能な限り、
売上げの多い順に記載してください。
・施設外就労(一部実施含む)で実施している場合は「○」を付けてください。(施設外支援は含みません)

分野(1～13)

1	クッキーやせんべい等菓子類の製造・販売	8	クリーニング
2	パンの製造・販売	9	自主製品（工芸品等）の製造・販売
3	お弁当の製造・販売	10	内職等の下請け作業
4	その他食品の製造・販売	11	農作業
5	レストランや喫茶店等飲食店の経営	12	リサイクル事業（空き缶拾い等）
6	印刷	13	その他
7	清掃や植栽管理		

	分野▼（売上げの多い順）	事業内容（製品やサービス、請負い作業の内容など具体的に記入）	施設外就労の実施▼
1	05レストランや喫茶店等飲食店経営	喫茶店の運営	－
2	06印刷	ポスター等の印刷	－
3	13その他	食品工場での施設外就労	○

III 就労支援事業（生産活動）の現状、課題、賃金向上（経営改善も含む）のための具体的方策（取組）

(1) 現状と賃金向上に係る課題の具体的内容（具体的に記載すること）

メインの喫茶店の来客数が減少傾向にあるため、来客数増加や喫茶店の運営に頼らない新たな施設外就労先を開拓する必要がある。

(2) 賃金向上のため、達成しなければならない課題事項（複数回答可）▼※該当する欄全てに「○」を記載

	販売品に魅力がない		販売品種が少ない
	販売先が限られている	○	立地条件が悪い
	受注単価が安い	○	多量の注文が受けられない
	他事業所とのネットワークがない		利用者の作業負荷増大
	職員の作業負荷増大		利用者特性
	職員のコンセンサス		その他（ ）

(3) 現状の評価について（具体的に記載すること）

喫茶店の売り上げが減少したが、印刷業務に係る客先を増やすことで賃金水準を向上することができた。

(4) 今後、計画している改善策（複数回答可）▼ ※該当する欄全てに「○」を記載

○	品質の向上		新商品開発
	他事業所とのネットワーク化		内部努力
	作業種目の見直し		職員の意識啓発
	千葉県 の賃金アップ支援事業への積極的な参加	○	販路開拓
	その他（ ）		

（５）主な作業活動▼ ※3つ以上記載する場合は、別紙１に記載					
①	作業名・作業内容		喫茶店の運営		
	作業の特徴	事業の将来性▼		事業の意義▼	
		－	販売・受注の拡大が見込める	○	利用者の特性に合っている
		－	生産量を増やすことができる	－	多くの利用者が関わるができる
		○	高い商品力・技術力を有している	○	利用者の職業能力の開発が見込める
				○	地域とのつながり・貢献度が高い

②	作業名・作業内容		印刷			
	作業の特徴	事業の将来性▼		事業の意義▼		
		○	販売・受注の拡大が見込める	○	利用者の特性に合っている	
		○	生産量を増やすことができる	×	多くの利用者が関わるができる	
		○	高い商品力・技術力を有している	○	利用者の職業能力の開発が見込める	
				－	地域とのつながり・貢献度が高い	

（注）作業の特徴欄は、あてはまる場合は「○」、あてはまらない場合は「×」、どちらともいえない場合は「－」を入力してください。

（６）賃金向上のため各年度に取り組む具体的な方策（年度ごとに具体的に記載すること）			
令和7年度			
新たな利用者が入ったため、接客の訓練をすることでサービスの水準を落とさないようにする。			
令和8年度			
別の工場にも施設外就労に行けるよう営業活動を行う。			
令和9年度			
喫茶店で昼食の新メニューを開拓する。			
（７）これまでの賃金向上に効果を上げた内容（具体的に記載すること）			
営業に強い職員を採用したことで、新規の取引先を開拓することができた。			
（８）本賃金向上計画（P D C Aサイクルの確立）について、管理者が中心となり、事業所の全職員、利用者、家族の理解を得て、共有しましたか。	共有した		
（９）法人及び事業所の理念・運営方針			
障害のある方の思いを大切にした支援を行い、利用者の自立した生活に寄与する。			
（10）賃金向上計画の推進体制（原則、事業所の全職員を記載すること。）※欄が足りない場合は別紙１に記載			
責任者及び運営体制	役割	氏名	役職、職名等
	統括責任者	●●● ●●	管理者
		▲▲ ▲▲	サービス管理責任者
		■ ■■■	職業指導員
		◆◆ ◆	生活支援員
		▼▼ ▼▼	賃金向上達成指導員

作成者：
具体的かつ簡潔に記載願います。なお、管理者が目標達成のため、別途「具体的な工程表」等（本工賃向上計画に添付等する必要はありません。）を作成することも重要です。

作成者：
無い場合は、未記載でも構いません。

作成者：
定款等の内容記載でも構いませんが、出来る限り、工賃向上に係る具体的方針を記載してください。

IV 障害者就労施設の物品買入れ・役務提供情報リストについて

御記載いただいた提供可能な物品等については、官公需発注等の問い合わせがあった際などに活用予定です。

※欄が足りない場合は別紙1に記載

事業所のホームページアドレス ➡ (ホームページがある場合は、記載してください。)		http:〇〇				
①	製品・サービスの内容	分類▼	最大提供可能総量	納期	販売・契約参考単価	納品方法▼
	【参考】受注実績					
	実績有／無	単価	対応日数	販売・受注総量	発注元▼	活用例等
②	製品・サービスの内容	分類▼	最大提供可能総量	納期	販売・契約参考単価	納品方法▼
	【参考】受注実績					
	実績有／無	単価	対応日数	販売・受注総量	発注元▼	活用例等
③	製品・サービスの内容	分類▼	最大提供可能総量	納期	販売・契約参考単価	納品方法▼
	【参考】受注実績					
	実績有／無	単価	対応日数	販売・受注総量	発注元▼	活用例等

作成者:
http:〇〇

V 県（千葉県障害者就労事業振興センター含む。）が実施する支援策について

希望する支援（(1)～(6) で該当する項目）に○を付けてください。(1)～(6)以外で希望する支援がある場合は、(7)に記載してください。

今後支援を希望する▼		
(1) 企業の経営手法の導入	・ 専門家（経営）の派遣	○
	・ 役員、管理者向けの経営セミナーの開催	○
(2) 技術指導の強化	・ 専門家（技術）の派遣	－
	・ 農業との連携事業における農業技術取得支援	－
(3) 他産業等との連携の促進	・ 農業分野との連携による施設外就労、施設内農業等の促進	○
(4) 受注・販路の拡大	・ 民間企業、行政機関等への発注の呼び掛け、優先発注等の周知	－
(5) 共同化・連携の推進	・ 共同受発注機能の推進	○
(6) 説明会や研修等の実施	・ 賃金アップの取組を活用した好事例の紹介、説明会	－
(7) その他（自由記載）		

別紙 1

記載しきれない場合は、本別紙 1 の行・列を増やす等して、記載してください。

Ⅲ 就労支援事業（生産活動）の現状、課題、賃金向上（経営改善も含む）のための具体的方策（取組）

(1) 現状と賃金向上に係る課題の具体的内容（具体的に記載すること）	
(3) 現状の評価について（具体的に記載すること）	

(5) 主な作業活動

③	作業名・作業内容			
	作業の特徴	事業の将来性		事業の意義
			販売・受注の拡大が見込める	利用者の特性に合っている
			生産量を増やすことができる	多くの利用者が関わるができる
			高い商品力・技術力を有している	利用者の職業能力の開発が見込める
				地域とのつながり・貢献度が高い
④	作業名・作業内容			
	作業の特徴	事業の将来性		事業の意義
			販売・受注の拡大が見込める	利用者の特性に合っている
			生産量を増やすことができる	多くの利用者が関わるができる
			高い商品力・技術力を有している	利用者の職業能力の開発が見込める
				地域とのつながり・貢献度が高い
⑤	作業名・作業内容			
	作業の特徴	事業の将来性		事業の意義
			販売・受注の拡大が見込める	利用者の特性に合っている
			生産量を増やすことができる	多くの利用者が関わるができる
			高い商品力・技術力を有している	利用者の職業能力の開発が見込める
				地域とのつながり・貢献度が高い

(6) 賃金向上のため各年度に取り組む具体的な方策（年度ごとに具体的に記載すること）	
令和7年度	
令和8年度	
令和9年度	

(7) これまでの賃金向上に効果を上げた内容（具体的に記載すること）			
(10) 賃金向上計画の推進体制（原則、事業所の全職員を記載すること。）			
責任者及び運営体制	役割	氏名	役職、職名等
	統括責任者		管理者
			サービス管理責任者
			職業指導員
			生活支援員
			目標工賃達成指導員

Ⅳ 障害者就労施設の物品買入れ・役務提供情報リストについて

※御記載いただいた提供可能な物品等については、官公需発注等の問い合わせがあった際になどに活用予定です。

事業所のホームページアドレス ➡ (ホームページがある場合のみ記載してください。)			http:〇〇				
④	製品・サービスの内容		分類	最大提供可能総量	納期	販売・契約参考単価	納品方法
	【参考】受注実績						
	実績有／無	単価	対応日数	販売・受注総量	発注元	活用例等	
⑤	製品・サービスの内容		分類	最大提供可能総量	納期	販売・契約参考単価	納品方法
	【参考】受注実績						
	実績有／無	単価	対応日数	販売・受注総量	発注元	活用例等	
⑥	製品・サービスの内容		分類	最大提供可能総量	納期	販売・契約参考単価	納品方法
	【参考】受注実績						
	実績有／無	単価	対応日数	販売・受注総量	発注元	活用例等	